

Rainbow

～六中ユニバーサルデザイン～



早いもので、長かった2学期も終業式を迎え、明日から冬休みに入ります。
今回は、面談等でご質問の多かった都立高等学校での通級についてお伝えします。裏面には、都立学校での通級による指導、連携事業者との指導例をご紹介します。

都立高校の通級は中学校と同じ？

東京都では令和3年度より、都立高校での通級による指導が開始されました。中学校とは異なり、通級指導の仕組みを導入し、民間事業者等を活用した指導体制となっています。イメージとしては、在籍高校の先生と、ノウハウのある支援員によるチームティーチングの形式です。

都立高校等における「通級による指導」

生徒一人一人の障害の状態や発達の段階等に即した指導目標を設定して、障害による学習上・生活上の困難を改善・克服することを目的とした指導を行います。

指導内容が同様で曜日や時間の都合が合う生徒が複数いる場合は、一緒に授業を受ける場合もあります。

高校の先生

高校の先生と、特別支援教育の経験のある高校通級支援員がチームティーチングの形式で指導を実施します。

生徒

高校通級支援員



・学校と民間企業間で委嘱契約し、当該企業から派遣される、指導経験のある者
・授業内容の提案、準備、記録、授業でのT2等を通じて、通級による指導全般を支援

高校入学後にすぐ利用できる？

入学後に、高校で面談等を踏まえ、手続きをしていくため、すぐに利用することができません。早くても1年生の2学期頃から通級による指導が開始となるようです。高校では、小学校や中学校での通級教室利用の有無に関わらず、利用を申請することができます。

外部連携事業者って？

現在は都教育委員会が連携協定している事業所は以下の5団体です。（令和6年2月現在）
学習塾、放課後等デイサービスや児童発達支援事業、就労移行支援授業、医療機関などの実績のある団体です。

各事業所がアセスメントを実施し、一人一人の課題に応じた教材やアプリ等を用いて指導が始まっているようです。

事業者名	株式会社Grow-S	特定非営利活動法人 星槎教育研究所	TASUC株式会社
代表者名	代表取締役 伊庭 葉子	理事長 高田 美香	代表取締役 齊藤 宇開
ホームページ	https://grow-s.com/ https://www.sakuranbo-class.com	https://edunpo.seisa.ac.jp/	https://tasuc.com/

株式会社 Kaizen (教育事業部ティーンズ)	ストレスケア東京上野駅前クリニック
代表取締役 鈴木 慶太	院長 細川 大雅
https://www.teensmoon.com/	https://tokyueno.com

コミュニケーションアシスト講座

平成28年度から都立高校では通級とは別で、土曜日等に校外で実施している講座もあります。高校での通級による指導を受けていても、受けていなくても申し込むことが可能です。

・通年講座（計30日） ・通年短期講座（計10日）
・夏期講座（5日間 対面、オンライン） 年間200名程度の生徒が受講しています。
学習内容は、ソーシャルスキル（人間関係、自己管理等）やコミュニケーションなど高校生活に役立つ内容となっているようです。



〈参考文献〉

『都立学校における発達障害教育の手引き～誰一人取り残されない学校づくり～』

令和6年2月（第一版）

お子様のことでご心配なこと等ありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

第六中学校 校内通級教室主任（特別支援教育コーディネーター）^{おもと} 尾本 保明

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□